



**岩手県港湾セミナーを開催！**

2月3日(木)

去る2月3日(木)、東京の経団連会館で、県主催、大船渡港振興協会、釜石港湾振興協議会、宮古港利用促進協議会及び久慈湾総合開発促進協議会の共催による「岩手県港湾セミナー」が開催されました。

このセミナーは、本県港湾の利用促進を図るための取組みの一つとして、岩手の港についての認知度を高めるとともに、利用港湾の選択肢を幅広く提供し、港湾取扱貨物の増大につなげるために、平成12年度から実施しているもの。

港湾説明会では、大船渡、釜石、宮古、久慈の重要港湾所在4市の市長等が、各々の港湾をPRしたほか、情報交換会には知事も駆けつけ、本県がお世話いただいている企業や、本県港湾に興味をお持ちの企業の方と懇談し、和やかな雰囲気の中、終了しました。



**宮古・下閉伊地域森・川・海フォーラムを開催！**

2月13日(日)

2月13日(日)、宮古市民文化会館にて、流域基本計画「宮古・下閉伊地域流域ビジョン」の披露を兼ねた「森・川・海フォーラム」が開催されました。

この計画は、平成15年10月に制定された「ふるさとの森と川と海の保全及び創造に関する条例」に基づき、環境保全上健全な水循環を確保し、良好な自然環境を後世に伝えていくために、住民、事業者及び行政が協働で取り組むべき方向性を示すことを目的として、1月20日に策定されたもの。

当日は、森林インストラクター齋藤真琴さん、子ども会育成会連絡協議会の和川時章事務局長、重茂漁協の盛合敏子女性部長、岩泉町の大平自然愛護少年団長の合砂哲弘君(大平中3年)の方々の環境活動が紹介されたほか、森と川と海を一体にとらえた取組みについて意見交換が行われました。



**大船渡港で埠頭保安訓練を実施！**

2月4日(金)

入港した貨物船にテロリストが潜伏し、港湾に爆発物を仕掛けたという想定で、2月4日(金)に大船渡港で初めての埠頭保安訓練が行われました。

2001年の米国同時多発テロを受けて法改正され、国際港湾施設の保安対策が義務付けられたことによるもの。

県内では、大船渡港(茶屋前、野々田両埠頭)、宮古港(藤原埠頭)、釜石港(新日鉄占用埠頭)が対象。

当日は、参加者それぞれが連携を取りながら、緊急事態の発生時に迅速・適切な対応ができるよう真剣な面持ちで訓練を行っていました。



**「山古志村支援チャリティ～映画と講演会～」を開催！**

2月16日(水)

2月16日に県公会堂において『山古志村支援チャリティ～映画と講演会～』を開催したところ、職員の皆様には多数のご参加をいただき、厚く御礼を申し上げます。県庁、各地方振興局、市町村職員を始め建設業・測量設計業関係者並びにNPO・一般市民を合せた全体では、約500名ものご参加をいただき盛会となりました。

また、山古志村救援募金についても、皆様のご協力により全体で約28万円となり、重ねて御礼申し上げます。募金は『掘るまいか山古志村救援基金』を通じて山古志村へ送金されます。



**汚水処理連携セミナーを開催！**

2月17日(木)

2月17日(木)、メトロポリタンニューウイングにおいて、汚水処理連携セミナーを開催しました。

同セミナーは汚水処理施設の整備について、関係機関相互の連携を図り、より経済的な整備促進と維持管理に関する情報を共有する目的で開催しているもの。

当日は、「阪神・淡路大震災における神戸市下水道の被害と復旧・復興」と題して神戸市建設局西水環境センターの佐賀井センター長から講演を頂き、引き続き「シリアの水環境と下水道整備について」と題して二戸市下水道部の古山主任から講演を頂きました。非常に関心の高い内容公演内容であったため参加した70名を超える参加者からは非常に有意義だったという感想が数多く寄せられました。



**新分野・新事業発表フォーラムを開催！**

2月18日(金)

2月18日(金)、建設研修センターにおいて、第2回建設業新分野・新事業発表フォーラムが開催されました。これは、県内建設業の新分野・新事業進出や、新技術・新工法への取組みをPRして、製品・技術の活用を目指すために(社)岩手県建設業協会と県の主催で開催したもの。

当日の午前中には、新分野・新事業のプレゼンテーションとして、県内3社から木質ペレット・乳酸エコチップ、開閉・可搬式炭焼釜、淡水魚養殖事業の事例発表が行われました。午後には、新工法・新技術として6社から発表が行われました。

また、発表会場の隣には、発表で紹介された製品や新技術のブースも設けられ、参加者は担当者から熱心に説明を聞いていました。



**土砂災害防止月間絵画、ポスター、作文コンテストの表彰式**

2月22日(火)

2月22日、盛岡市プラザおでつで開催された「どしゃ災害フォーラム」において、土砂災害防止月間絵画、ポスター、作文コンテストの表彰式が行われました。

国では土砂災害から人命、財産を守るため、6月を「土砂災害防止月間」と定め、防災意識の普及、警戒・避難体制の整備等に関する各種運動を実施することとしており、その一環として開催されたもの。

表彰式では、作文の部で国土交通省砂防部長賞を受賞した千葉賀子さんら小中学生3人に表彰状が贈られました。



**いわて住まいる講座を開催！**

2月23日(水)

2月23日(水)、エスポワールいわてにおいて、第5回「いわて住まいる講座」を開催しました。

講座では、「北海道からの住まいだより」と題して、札幌の建築家・奈良顕子氏から講演をいただく予定でしたが、天候不順のため講師が到着できなくなったため、急きょ内容を変更し、県が進めている住宅施策(岩手県高齢者住宅政策大綱、まちづくりユニバーサルデザインガイドライン、環境にやさしいいわての住まいづくり助成制度)を紹介しました。

当日は105人が参加しましたが、奈良顕子氏の講演を楽しみにしてきた皆さんはとても残念がっていました。この講演会は、改めて来年度に企画し、いわて住まいる講座として開催する予定です。